

第36回 創薬科学セミナー

日時：2015年11月13日（金曜日）15:00～

場所：創薬科学研究館 2F 講義室

安達 貴弘 博士

東京医科歯科大学 難治疾患研究所 准教授

5D生体イメージングによる免疫応答 の解析および未病の検出

カルシウムは細胞内のシグナル伝達で広く使われている。そこで、カルシウムバイオセンサーYellow Cameleon (YC3.60) を用いて細胞系譜特異的発現マウスを作製し、5D生体イメージング(x、y、z、時間、カルシウムシグナリング)を確立した。このマウスでは病態を発症する前の生体のひずみ(未病)を検出でき、病因・病態の解明のみならず、予防法、創薬の開発にも有効なツールであると期待される。

連絡先：細胞生化学分野 人見清隆 内線6807



名古屋大学大学院 創薬科学研究科 基盤創薬学専攻
Department of Basic Medicinal Sciences, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Nagoya University